

# 水稻情報

(第4号)

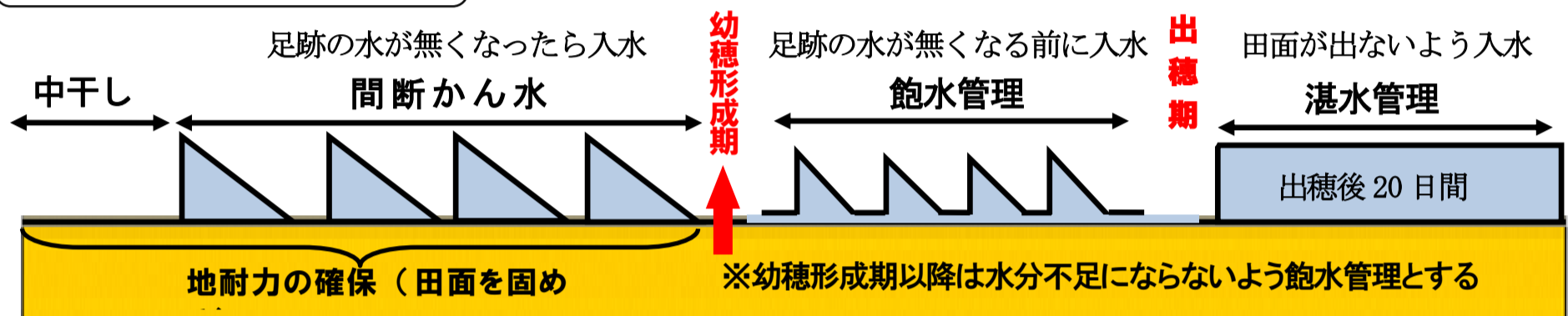
令和8年6月24日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

田植え後は好天に恵まれ、6月上旬のコシヒカリの生育は、近年に比べ葉齢の進展が早く、茎数が急激に増加してきています。  
また、てんたかくの幼穂形成期は、近年よりやや早くなると見込まれます。

- \*中干し後は「**間断かん水**」、幼穂形成期から出穂期は「**飽水管理**」を行い、稲の活力を維持しましょう。
- \*春から斑点米カメムシ類が多くみられます。畦畔や雑草地の草刈りを徹底しカメムシの発生を抑えましょう。

## 1. 中干し後の水管理

～「**間断かん水**」の後、「**飽水管理**」とする！～



- 中干し後は間断かん水を行い、てんたかくは6月25日頃まで、コシヒカリは7月10日頃までに足跡の深さが3cm程度になるように地固めしましょう。
- 間断かん水時に田干しが強すぎると、葉色および収量の低下を招くので、干しすぎないようにしましょう。
- 中干しが不十分なほ場では、幼穂形成期前に田面を固めましょう。
- 幼穂形成期以降は飽水管理（足跡の水を切らさないで湿润状態を保つ水管理）とし、過剰な田干しにより葉色が低下しすぎないように注意しましょう。
- 出穂後20日間は湛水管理を行い、稲体活力を維持しましょう。

## 2. 「てんたかく」の穂肥

～穂揃期の葉色を4.5に誘導する！～

- 基肥一発施肥体系の場合…原則として穂肥は不要です。  
ただし、幼穂形成期（6/24頃）の葉色が4.0（砂壤土で4.2）を下回らないよう、葉色が低下した場合は、幼穂形成期直前に追肥3号を7kg/10a（N成分：1.0kg/10a）程度施用し、穂揃期の葉色を4.5に誘導しましょう。
- 分施肥体系の場合 …追肥3号の施用時期及び施用量の目安（5月上旬植えの場合）

回数	1回目	2回目
施用時期	6/24頃〔幼穂長1～2mm〕	1回目の10日後
施用量	10a当たり10～12kg	10a当たり12～13kg

コシヒカリ、てんこもりの穂肥については次号でお知らせします

幼穂形成期の葉色が4.5以上と濃く、茎数が多い（30本／株以上）ほ場では、1回目の穂肥の施用は控えましょう。

## 3. 中間追肥

～ケイ酸を補給して稲体を丈夫に！～

- 中干し後から7月5日頃までに下記のいずれかの資材を施用し、稲体の活力を向上させましょう。
  - ・PKけい酸（20kg/10a）・エスアイ加里らくだ（15kg/10a）
  - ・エスアイ加里カリ投げくん（4kg/10a（200g×20パック））

## 4. 紋枯病防除

近年、紋枯病の発生が多くみられます。ほ場での発生状況に応じ防除を行いましょう。

### ①一般のほ場での防除

- ・防除時期: 穂ばらみ期(出穂期の10日前頃)
- ・防除薬剤: 粉剤体系: モンカットファイン粉剤20DL(4kg/10a)(収穫14日前まで)  
液剤体系: バシタックゾル(1,000倍、150L/10a)(収穫14日前まで)

### ②住宅地など粉剤・液剤散布が困難なほ場での防除

- ・防除時期: てんたかく 7月8日頃、コシヒカリ 7月24日頃
- ・防除薬剤: ワイドパンチ豆つぶ(250g/10a)(収穫35日前まで)

いもち病、カメムシ類との同時防除  
3~5cmの湛水状態で散布。  
散布後7日間は落水やかけ流しを  
しない。

## カメムシ対策 第4回

～適切な雑草管理と防除で斑点米発生防止～

- ◎県内斑点米カメムシ類の越冬後すくい取り虫数は、調査開始以来(平成10年～)2番目に多くなっています!
- ◎カメムシによる斑点米被害を防ぐには、畦畔等の草刈りの励行と基本防除が不可欠です。また、ほ場内にノビエやホタルイが残っていると、カメムシを引き寄せ被害を助長するので、基本防除前に抜き取りましよう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ クモヘリカメムシ ホソハリカメムシ

### 雑草の管理について

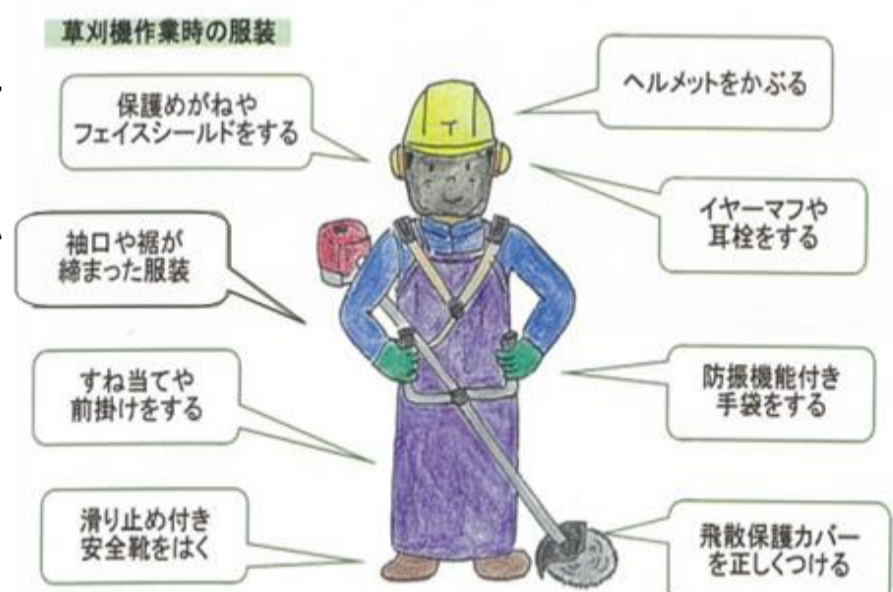
- ▶本田内にカメムシを追い込まないよう7月6日頃までに畦畔や水田周辺の雑草地の草刈りを徹底し、その後もイネ科雑草の穂が出ないよう管理ましよう。
- ▶大麦あとには積極的に大豆や園芸作物、緑肥等を栽培ましよう。作物の作付けを行わない場合は、雑草等が繁茂しないよう7月5日頃までに耕起ましよう。



カメムシ類が好む主なイネ科雑草  
(左: ナギナタガヤ 右: メヒシバ)

### 安全な草刈り作業

- ▶草刈り作業の際は防護具(右図参照)を装着し、小石等の飛散による被害を防止ましよう。
- ▶高い畦畔では途中で小道をつけるなど、足元をしっかりと確保ましよう。
- ▶1時間に1回は5分以上の休憩を取り、20分おきにコップ1~2杯の水分を補給して、熱中症防止に努めましよう。



病害虫本田基本防除については、次号でお知らせします

草刈り運動期間 6月26日(金)~7月5日(日)  
一斉草刈日 6月27日(土)、28日(日)

農作業は安全優先 熱中症対策もしっかり行いましょう!  
栽培履歴の記帳・とやまGAPを実践しましょう!

「農薬使用前 周囲をよく見て ラベル見て」富山県農薬危害防止運動実施中(4/1~9/30)